

かつやま 3月定例会報告

議会だより

2023.4.27
No.87

審議結果……………P2
委員会報告……………P3
代表質問……………P7
一般質問……………P9



桜 (3/30 花月楼)

定例会審議結果一覧

★ 議員提出議案

■ 表決を行ったもの

議案番号	議案名	付託委員会	議決結果
-	「議案第94号 勝山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について」の訂正の件	-	承認
議案第65号	令和5年度勝山市一般会計予算	予算	可決
議案第66号	令和5年度勝山市国民健康保険特別会計予算	総務文教厚生	可決
議案第67号	令和5年度勝山市後期高齢者医療特別会計予算	総務文教厚生	可決
議案第68号	令和5年度勝山市介護保険特別会計予算	総務文教厚生	可決
議案第69号	令和5年度勝山市育英資金特別会計予算	総務文教厚生	可決
議案第70号	令和5年度勝山市下水道事業特別会計予算	建設産業	可決
議案第71号	令和5年度勝山市農業集落排水事業特別会計予算	建設産業	可決
議案第72号	令和5年度勝山市水道事業会計予算	建設産業	可決
議案第73号	令和5年度勝山市市有林造成事業特別会計予算	建設産業	可決
議案第74号	令和4年度勝山市一般会計補正予算(第8号)	予算	可決
議案第75号	令和4年度勝山市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	総務文教厚生	可決
議案第76号	令和4年度勝山市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	総務文教厚生	可決
議案第77号	令和4年度勝山市介護保険特別会計補正予算(第3号)	総務文教厚生	可決
議案第78号	令和4年度勝山市育英資金特別会計補正予算(第1号)	総務文教厚生	可決
議案第79号	令和4年度勝山市下水道事業特別会計補正予算(第5号)	建設産業	可決
議案第80号	令和4年度勝山市農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)	建設産業	可決
議案第81号	令和4年度勝山市水道事業会計補正予算(第5号)	建設産業	可決
議案第82号	令和4年度勝山市市有林造成事業特別会計補正予算(第2号)	建設産業	可決
議案第83号	個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	総務文教厚生	可決
議案第84号	勝山市表彰条例の全部改正について	総務文教厚生	可決
議案第85号	勝山市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可決
議案第86号	北谷地区活性化及び各地区の特色ある地域づくり基金条例の廃止について	総務文教厚生	可決
議案第87号	大野・勝山地区広域行政事務組合規約の一部変更について	総務文教厚生	可決
議案第88号	勝山市ふるさとルネッサンス基金条例の廃止について	総務文教厚生	可決
議案第89号	勝山市税条例の一部改正について	総務文教厚生	可決
議案第90号	勝山市国民健康保険条例の一部改正について	総務文教厚生	可決
議案第91号	勝山市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可決
議案第92号	勝山市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可決
議案第93号	子ども課設置に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	総務文教厚生	可決
議案第94号	勝山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	総務文教厚生	可決
議案第95号	勝山市交通遺児年金支給条例の廃止について	総務文教厚生	可決
議案第96号	勝山市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可決
議案第97号	勝山市立中学校建設基本設計等業務プロポーザル審査会条例の制定について	総務文教厚生	可決
議案第98号	勝山市地区計画の区域内における建築物等の制限に関する条例の制定について	建設産業	可決
議案第99号	財産の取得について	建設産業	可決
議案第100号	損害賠償の額を定めることについて	建設産業	可決
議案第101号	勝山市ジオターミナルの設置及び管理に関する条例の廃止について	建設産業	可決
議案第102号	財産の処分について	建設産業	可決
議案第103号	勝山市教育委員会教育長の任命について	-	可決
議案第104号	勝山市教育委員会委員の任命について	-	可決
議案第105号★	勝山市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	-	可決
議案第106号★	勝山市議会委員会条例の一部改正について	-	可決
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	-	異議がない
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	-	異議がない
諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	-	異議がない
決議案第1号★	久保幸治議員に規律を正すことを求める決議	-	可決

◆ 請願・陳情

受理番号	要旨	付託委員会	議決結果
陳情第9号	中学校を高校のグラウンドに建設する計画を凍結し、中学校のあり方の再検討を求める陳情書	総務文教厚生	不採択
陳情第10号	中学校を高校のグラウンドに建設する計画を凍結し、中学校のあり方の再検討を求める陳情書	総務文教厚生	不採択
陳情第11号	中学校を高校のグラウンドに建設する計画を凍結し、中学校のあり方の再検討を求める陳情書	総務文教厚生	不採択
陳情第12号	公立幼稚園および公立保育園の存続を求める陳情書	総務文教厚生	不採択
陳情第13号	公立幼稚園および公立保育園の存続を求める陳情書	総務文教厚生	不採択

◆ 表決結果

※意見が分かれた案件については、電子表決システムを使って記名投票を行っています。

議案番号	総投票数	投票数		松本聖司郎	中山光平	安岡孝一	富士根信子	高間清一	久保幸治	竹内和順	吉田清隆	下牧一郎	近藤栄紀	下道恵子	丸山忠男	松山信裕	婦山寿憲	山田安信	乾章俊
		賛成票	反対票																
議案第65号	15	9	6	○	×	○	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	議長
議案第66号	15	13	2	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長
議案第89号	15	13	2	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長
陳情第9号、陳情第10号、陳情第11号	15	5	10	×	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	議長
陳情第12号、陳情第13号 ※1	15	5	10	×	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	議長
陳情第12号、陳情第13号 ※2	15	5	10	×	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	議長
議案第72号	15	13	2	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長
議案第101号	15	11	4	○	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	議長
議案第102号	15	11	4	○	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	議長
決議案第1号	14	12	2	○	○	○	×	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長

※趣旨採択とするものの賛否をはかり(※1)、否決となったため、原案の賛否(※2)をはかりました。

○=賛成、×=反対、不=不在、除=除斥、議長=議長職(通常は採決に加わらない)

● 総務文教厚生委員会

審査の結果、議案23件について全て可決し、陳情5件のうち2件を趣旨採択、3件を不採択としました。

◆ 勝山市役所周辺施設ファシリティマネジメント(案)について

市役所、教育会館、市民会館の各施設に配置する機能を特化・単一化（市役所＝行政機能、教育会館＝子育て支援機能、市民会館＝市民交流機能）し、行政業務の効率化と市民サービスの魅力向上・利便性向上を目指して再編するという案が示されました。

委員からは、「当初予算議決から約1年経ち、初めて案を提示するのは議会軽視ではないか」、「利用者の意見を聞いているのか」、「場当たりの計画案ではなく、将来を見据えた都市計画として考えるべき」等の意見が出されました。

理事者からは、今回はたたき台として提示しただけで、これで決まったというわけではなく、今後、議員や利用者等に広く意見を聞き、公共施設のあり方も含めて計画を進めたい旨の回答がありました。

◆ 中学校を高校のグラウンドに建設する計画を凍結し、中学校のあり方の再検討を求める陳情書

委員会において、委員一人ひとりからこの陳情書に対する意見を丁寧に確認したところ、「これまで十分議論はされた」、「早く前に進めてほしい」との地元の意見がある、「市民の意見をまだ十分聞いていない」、「行政の説明会の進め方に疑問がある」等の意見が出されました。委員同士での討論も交わされ、採決の結果、不採択となりました。

◆ 公立幼稚園および公立保育園の存続を求める陳情書

上記の中学校再編計画案に対する陳情書と同様に、各委員から丁寧に意見を聞き取り、討論を交わしました。採決の結果、趣旨採択※となりました。（2ページ下部参照）

※陳情の願意は理解できるが、実現性の面で確信が持てない場合に出されることがあります

● 建設産業委員会

審査の結果、議案13件について全て可決しました。

◆ 勝山市ジオターミナルの設置及び管理に関する条例の廃止について ◆ 財産の処分について

ジオターミナルについて、県立恐竜博物館リニューアルオープンや北陸新幹線開通を間近に控え、観光客の増加が見込まれる中、指定管理者の勝山市観光まちづくり株式会社（以下、まちづくり会社）が施設を一体的に管理することで、まちなかへの観光誘客のための長期的な視野に立った設備投資や効率的な施設運営、人員配置が期待できるとして、勝山市は、ジオターミナルの市所有分の建物をまちづくり会社に無償譲渡したいとの説明がありました。

委員会当初は、これまでまちづくり会社が実施してきた観光誘客事業に対して多くの厳しい

指摘があり、両議案に対して否定的な意見が多く出されました。

その後、委員会での議論が進み、新体制となったまちづくり会社に今後の活躍を期待する意見もあり、採決の結果、原案が可決されました。

◆ 令和5年度勝山市市有林造成事業特別会計予算

委員から、市有林の現状確認や管理に関する意見があり、理事者から資料提供や状況説明を受けました。今後、県が令和3年度に実施した上空からのレーザー測量データの解析を進めることで、より詳細な現状把握が可能になるとのことです。

採決の結果、原案が可決されました。

● 予算委員会

◆ 今定例会の審査結果

令和5年度勝山市一般会計予算19億円(前年度比0.2%減)と令和4年度勝山市一般会計補正予算(第8号)の審査を行い、いずれも可決しました。

毎年、3月定例会の予算委員会では、新年度予算の審議を行うため、議論が白熱します。

ここでは、特に議論が活発であった案件を取り上げて報告します。

◆ パートナーシップ宣誓制度

企画推進費

予算額 91万円

理事者から、パートナーシップ宣誓制度は、性的マイノリティの方々安心して暮らせる社会づくりを目指すための制度の一つであると説明があり、議論を交わしました。
委員 ◆ 実施要綱の第1条には、「性自認」という概念、文言が使用されている。性の多様性を認めるならば性同一性と表記するべき。性自認は、認識の多様性とも言える広範なもの。医師の診断で確認可能な性同一性とは違い、性自認は他者から確認できない。

理事者 ◆ 他市町においても同様の文言を使用しており、性自認で進めたい。

委員 ◆ 性自認については国会でも争点となっており、同じ概念を導入している他国では裁判沙汰や事件も頻発している。性自認は、性同一性と変更するか削除すべき。理事者 ◆ 検討したい。

◆ 結婚を支援していきます

結婚相談事業費

予算額 116万6000円

コロナ禍で近年、婚活イベントが開催されず、成婚に至る例もありませんでした。

委員会ではこの状況を深刻に捉えた議論がありました。

委員 ◆ 成婚率向上のため、民間企業の力を借りる考えはないか。

理事者 ◆ 令和5年度は、婚活イベントの前に民間の講師を招き、コミュニケーション力アップ講座と



魅力を高めるファクション講座の開催を予定している。また、親の婚活講座も開催する。

委員 ◆ 新たに民間の結婚相談所の力を借りるため、登録費用の補助は考えないか。

理事者 ◆ 福井県内の自治体で構成する「ふくい結婚応援協議会」が実施しているマッチングシステムも活用している。

委員 ◆ この事業を否定するものではない。補正予算で計上することも含め、民間の結婚相談所の力を借りることを並行して考えてほしい。

◆ 新型コロナウイルス対策について

新型コロナウイルスワクチン接種対策事業費

予算額 1434万8000円

新型コロナウイルス対策で求められた生活様式が元に戻り始めたが、その変化に勝山市が対応できているかという観点で議論されました。

委員 ◆ 一般質問で、3月13日以降の市役所内のマスク対応をどう考えるかの問いに、課長と市長の答弁が数分で一変しているが、なぜか。庁内で検討していなかったのではないか。

また、これまでコロナ対策を理由に喫煙所の利用を止めていた

が、今後はどう考えているのか。

理事者 ◆ (一般質問で答弁した時点では) 方針の決定や周知等ができていなかった。課長の答弁は誤りで、市長の答弁のとおり、職員は自分の間マスクを着用することとし、県内の状況などを見ながら対応を検討したい。

喫煙所については、ドアを閉鎖した際は密になる等、コロナ感染予防と副流煙の課題がある。

委員 ◆ 感染予防という課題は、排烟機能で解決されている。路上喫煙等の問題があり、総合的に判断してほしい。

委員 ◆ 市内全体の喫煙事情を考えると、喫煙所マップ等がないと喫煙者が困惑する。

理事者 ◆ マップを行政が作成することは難しい。喫煙所は、パートナーでの実現も考えている。

◆ 生分解性マルチへの補助を拡充

農地活用支援事業費

予算額 1150万円

里芋栽培に使う生分解性マルチの購入に対し、生分解性マルチと黒マルチの差額について、現在の半額補助から令和5年度は全額補助に拡充したいとの説明がありました。

作業の省力化や廃プラスチックの削減を図り、里芋の生産量や担い手を確保するのが目的とのこと

委員からは、「生分解性マルチ1本4100円の補助金では足りない」、「生分解性マルチは、雨等の影響で里芋を出荷する前に穴が開いてしまい、そこから草が生えることがあり使いづらい」、「黒マルチに補助金を出した方がいい」等の意見がありました。

◆法恩寺山のオートムフェスタ

観光PR推進事業費
法恩寺山エリアにぎわい創出
事業委託料

予算額 325万2000円

令和4年度に法恩寺山有料道路が無料化されたことをきっかけにオートムフェスタが開催されました。これまでグリーンシーズンの誘客がネックだったこともあり、今後もオートムフェスタを継続したいとの説明がありました。
委員▼30分300万円で花火を上げることになる。火災も危惧する。他の方法で盛り上げてほしい。
理事者▼花火は秋の季節でもあり、秋空にきれいに映え、昨年のイベント参加者からも好評だった。

ぜひ、事業を継続していきたい。

委員▼イベント自体には反対ないが、オートムフェスタ開催までも仕掛けはないのか。持続的にイベントや広報をしなければ効果が薄い。単発の企画だけを提示されても、簡単には納得できない。
理事者▼企画の追加と、事業者との連携を考えて再構築したい。

※後日、意見を元に再構築された計画が提示されました。



昨年の花火の様子

◆ゆめおーれは教育？ 商工？

はたや記念館費

予算額 3881万9000円

委員▼現在、織維協会は休会状態で、何かを起こす計画も聞こえてこない。まちなか誘客のため、館長の努力で広範囲の各所にゆめおーれの案内が置かれている事実等は把握している。一層のこと、ゆめおーれを博物館という教育機

関の位置づけにして、商工費ではなく教育費として予算組みをしてはどうか。

理事者▼施設定款では、教育、商工両方での設定になっており、それを踏まえた上で飲食店に出店していただいている経緯がある。観光誘致の問題については、承知している。

委員▼教育機関とすれば図書館との連結等も図ることができる。その方が市民も納得するだろう。

これらの議論を経て、予算の持ち方を検討する運びとなりました。

◆中央公園周辺どうする？

都市整備（補助）事業費
設計委託料

予算額 600万円

委員▼設計の前にマスタープランの見直しをしてほしい。役所の庁舎も65年経っており、修繕が近い内に確実に必要となるため、現在の中央公園に新庁舎を建て、3棟連携等を行い、この先100年使える施設とするべき。

市の中枢エリアを数年単位の場当たり的な計画を進めるべきではない。

理事者▼これは、あくまで案とし

て出しており、市民等から意見をお聞きした上で進めていきたい。

今後も調査、意見聴取を行い、長く使える利便性の良いものができるあがる計画にしていきたい。

◆凍結すべきか、進むべきか

中学校再編施設整備事業費

予算額 6430万1000円

市が推進する再編計画の事業費として計上されたこの予算には、設計委託料5334万5000円、地質調査委託料1086万8000円等が含まれています。

中学校再編計画に関しては、市民の注目度も高く、委員会では多くの議論が交わされました。

総務文教厚生委員会には、市民から計画の凍結と、この予算を認めないことを求める陳情が出され、その結果は3対4で不採択となり（3ページ参照）、予算委員会でも慎重に審議されることになりました。

議論の内容としては、この予算の可否が、中学校再編計画の進捗に関わることから、市民の声を聞き凍結すべきか、市の再編計画を進めるべきかの2点を中心に、理事者と議員間で活発な議論が交わされました。

◆ 小学校のプール授業と夏休み期間を市営温水プールに委託

小学校管理運営費
プール授業等委託料

予算額 943万1000円

市内各小学校では、プール設備の老朽化が進み、維持管理費や安全・衛生的に使用するための改修経費が相当額になるため、水泳授業や夏休み期間も市営温水プールに委託されます。

天候に影響されず、温水なので体温低下が抑えられます。

夏休み期間の学校でのプール開放の監視に対して、保護者や教員の負担軽減にも繋がるとの説明がありました。

委員▼授業は仕方ないとしても、夏休みのプール開放は、自宅に近い小学校に行くのと違い、子供たちは行きにくくなるのではないかと。監視員を市で雇えば、安心できるのではないかと。

理事者▼児童20人に1人インストラクターがつくので、習熟度にあわせて集中的に指導できる。監視も、教諭だけより見守る目が増える。移動は、貸切バス等で送迎したい。

◆ 町の楽しさを創る

表彰関係費等 演奏者謝礼

予算額 117万円

市内で開催される式典やイベントや会議等に、勝山市出身の音楽家を招き、市民が音楽にふれあう場を創出するための事業費が、17万円計上されました。

コロナ禍で発表の機会や出演料などの収入が激減したことが予想される中で、音楽家への活動支援にも繋がり、市民にとっては質の高い演奏を聴く機会が増えることで、音楽を通じて市民文化の向上などにも繋がるかと期待されています。

議員からは、イベントや会議、式典時の演奏はもとより、恒常的に音楽に接することができる音楽堂やステージを望む声も上がりました。



3月19日の20歳のつどいで、音楽家による演奏が披露されました。この予算は、こういった活動に使われます。

● 議会改革特別委員会

委員会では、次期18期から議員定数が16人から14人になることに伴い、それぞれの常任委員会等の定数について検討しました。

6月定例会では、それらの検討内容を踏まえた勝山市議会委員会条例の改正案を上げし、9月からスムーズに議会活動が進められるように準備を進めます。

● 久保幸治議員に規律を正すことを求める決議案審査特別委員会

久保幸治議員に本会議や委員会での無断欠席や事前連絡のない遅刻が目立ったことから、本定例会において久保幸治議員に規律を正すことを求める決議案が提出されました。

これを受けて、議長と久保議員を除く議員14名で構成された本特別委員会を設置することとなり、決議案について審査をしました。

委員会では、「無断欠席は病気が原因だから倫理観とは関係ない」、「本人は反省し再発防止の努力もしているからここまでしなくてもいいのではないか」という意見のほか、

「その後の態度や行動を見ていると、もう少し真剣に受け止めてほしい」など多くの意見が出されました。採決の結果、賛成多数で可決されました。

● 議論のポイント

委員会では、前段の委員会報告の内容の他、次のような意見が出ました。

- ・病気だと主張されるが、委員会では判断できない。仮に病気なら、健康のために生活環境の改善もあつて然るべき。
- ・誰しも忘れてしまつことはあるが、工夫して気をつけている。
- ・このような事態に対しては真摯に反省しているが、この決議案には賛成できない。
- ・謝罪と反省の言葉があつたが、その後も事前の連絡もなく遅刻した。
- ・事前連絡がないことを引き合いにするが、連絡すれば遅刻してもよいのか。
- ・議会の規則には、遅刻、欠席をする場合は事前に届け出ることと書かれている。ここでは、すでに起きたことに対して規律を正そうとしている。「反省とは別に考える必要がある」。

新風会・公明代表
安岡孝一 議員



○ 令和5年度当初予算について
○ 带状疱疹ワクチンの助成について

その他の質問

・人と動物の共生するまちづくりについて

議 令和5年度当初予算について、物価高や燃料高騰に対する市民生活を守る対策や、豪雨被害の復旧対策を優先した予算になっていると思うが、市長の市政運営の基本姿勢と施策について伺う。

理 令和5年度は、アフターコロナ、大雨災害からの復興を見据え、今後のことも政策の充実に向けスタートを切る大事な1年になる。また、夏の県立恐竜博物館リニューアルオープンや県立大学恐竜学部(仮称)勝山キャンパス開校など大型プロジェクトが次々と控え、このチャンス逃さぬよう新たな勝山市の実現へ多方面にわたり積極的な投資を行う編成とした。市単独の緊急経済対策として電気料高騰対策支援交付金の交付や防災対策の推進、こども政策の充実、令和9年4月の新統合中学校開校に向けた準備を進めていく。

の予算をお願いし、施策の展開を図っていききたい。

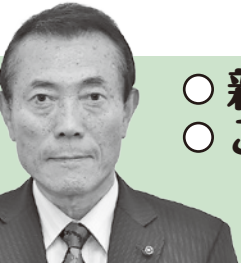
議 带状疱疹は50歳から80歳までに約3人に1人が発症するといわれる。带状疱疹を予防するにはワクチン接種が有効だが、費用が高額なため接種を控える方が少なくない。带状疱疹ワクチンの助成を実施してはどうか。

理 带状疱疹ワクチンは、予防接種法に位置づけられた定期予防接種ではなく、任意接種であるために費用が全額自己負担で、不活化ワクチンは、2回で4〜5万円と高額となる。

令和5年度から県内で初めて带状疱疹予防接種費用助成金事業を実施するため、当初予算に計上している。予防接種に要する費用の一部を助成することで、経済的負担を軽減し、带状疱疹の発症や重症化予防を図る。



市政会代表
丸山忠男 議員



○ 新年度予算について
○ こども政策について

その他の質問

・高齢者の集える部屋の設置について
・勝山市の観光に対する取り組みについて
・農業に対する取り組みについて

議 勝山市の令和5年度当初予算の一般会計は、前年度比2800万円、0.2%減の119億円で、平成27年の過去最大であった当初予算の131億1027万5000円にははるかに及ばないが、ほぼ前年並みとなった。

市長は、限られた予算の中で今後の新しい勝山の展望を開いていきたいと述べているが、次の3点について担当課の見解を伺う。

①市税見込み

②市債償還予定と財源措置

③財政調整基金のあり方

理 ①個人住民税、法人市民税ともコロナ禍前の水準に回復してきていると判断する。

②市債の借入れは、財政措置のある市債以外は借り入れない方針で、令和5年度末の一般会計市債残高119億259万1000円のうち、66.9%が後年度、普通交付

税で財政措置される。この割合は、年々増加傾向で、健全な財政運営ができていると考えている。

③財政調整基金残高の基準は、国の指導等の中で経験則上、標準財政規模の10%程度が望ましいと言われている。

令和5年度末の財政調整基金残高は14億4583万3000円の見込みで、その金額は、標準財政規模の20.4%となる。

議 市長は、教育会館を「こども会館」とし、子育て支援機能を加え中央公園の屋外遊技場を屋内遊技場と一体的に整備し、わくわくするような施設を目指すと言っている。

これからの子供たちに託す市長の考えを聞かせてほしい。

理 かねてから子育てしやすい環境づくりを念頭に、各施策に取り組んできたが、これら子育て支援策が少子化に効果があったとは言えないのが現実である。

若者の雇用問題や働き方改革、家事育児に対する男女負担の見直しなど様々な分野で多角的な取り組みが重要。

結婚や出産、子育てのあらゆる場面で、きめ細かな支援や経済的負担の軽減などを行い、若い世代が勝山市で子供を産み育てたいと思えるよう、また、生まれ育つ子供たちが一人でも増えるよう、取り組んでいく。

○ 中学校再編と公立幼稚園、公立保育園を 取り巻く問題と議員の役割

富士根信子議員
市民の会代表



議 市長や教育長が、新中学校再編計画案の説明会で、勝山高校の敷地内に新中学校を建設することは決まったことだからと強硬に押し進める姿勢では、反対している市民は理解できない。

理 20年間検討を重ねてきた実績の中に単独中学校建設案と勝山高校の敷地内に新中学校建設案との比較検討した資料、校舎内外の環境、施設整備の内容、教育活動、登下校、スクールバス、部活動、給食など様々な面で比較検討された資料を市民への説明として公開してほしい。

理 再編計画については、昨年の3月議会で関連する予算が認められ、教育委員会で決定をしている。

中学校再編にあたっては、それまでの経緯を踏まえ、成器西小学校や中部中学校を活用する案、その後、1校再編案に加え、2校再編案も検討することとするなどの変遷を経て、平成30年に設置した勝山市立中学校再編検討委員会において、まず1校に再編統合が妥当であるとして、中部中学校敷地案の検討からスタートした。

様々な課題を検討する中で、勝山高校への併設案が提案され、中部中学校案よりも優れた点が多いと判断され、答申や現在の再編計画につながっている。

このような経緯で検討を積み上げながら進めてきたため、単独中学校建設案と勝山高校敷地案を比較検討した資料はないが、検討の具体的な経緯は、再編検討委員会の答申に記載されている。

議 市民の中には、市議会議員と話し合う機会がほしいとの声がある。

市民の会としては、より多くの市民の声を聞く機会をつくり、議員一人一人の考えを市民に説明し、公正性、透明性の保持に努め、市民の負託に応えなければならないと考えている。



○ 勝山市立幼稚園と保育園の、廃園と募集停止について ○ 中学校問題での、北郷、鹿谷、荒土地区の市民による市長と教育長への要望について

山田安信議員
日本共産党代表



その他の質問 ・岸田政権の「安保3文書」の閣議決定や「敵基地攻撃」等の、戦争国家づくりに反対することについて ・福島原発の汚染水を海に棄てながら、原発依存を再開するのは「無反省で無責任」ではないか ・政府の「異次元の子育て支援」は、「少子化を招いた原因」の解決策になるか

議 ①保護者等が存続を求め、議会も廃園を認めていないのに、市長と教育長は廃園と募集停止を強行するのか。議会が存続を求める陳情を採択しても強行するのか。

②入園希望がある限り存続するので、地域を守るためにがんばってほしいと、勝山市が全力で支えるべき。

③市立園を全部廃止し、民間事業者が経営危機で廃園したら、市はどうするのか。

理 ①陳情書が市議会に提出されたことは、重く受け止めているが、答申の趣旨は保護者から一定の理解が得られたと考えている。

②市立幼稚園・保育園それぞれのあり方検討委員会からの答申を踏まえ、現在の園児数が少ない状況を早急に解消することが必要だと判断した。このことは、保護者からも一定の理解を得られていると考えている。

③諸事情による突然の廃園や休園にならないために、引き続き、各園の経営の現状把握や適切な保育環境のあり方も含めて、経営者である社会福祉法人や園長会等と継続的に話し合いを進めていく。

議 北郷、荒土、鹿谷の方々から署名が地域有権者の半数を超えたとして、計画凍結と再検討、設計費の執行停止が要望された。

①昨年7月の説明会や12月の市長と語る会、今年1月の保護者説明会でも、署名は昨年の1.5倍の6000人を超え、計画見直しの声は、質も量も大きくなっている。市長と教育長は、要望をどう受け止めているのか。

②荒土小で保護者がアンケートをされたことについて、どう思うか。

理 ①中学校の再編については、長い年月をかけて多くの方々が関わって検討を積み重ね、その中で方向性の変更も行いつつ、最終的に昨年策定した勝山市立中学校再編計画をもとに進めている。これまでの経緯の重みを踏まえ、引き続き、計画の実現に向けて努めていく。

②保護者がそうした行動をされたことは聞いている。それは、その保護者の考えでされたことであり、それについて言及することは特にない。

下道恵子 議員
市政会



○ ペット同伴の専用避難所について ○ マスク緩和後の学校での対応について

その他の質問

- ・「母子健康手帳」の名称について
- ・児童センターの日曜日・祝日の開所について
- ・パートナーシップ宣誓制度への教育委員会の対応について
- ・市のコミュニティバスの「フルデマンド」の状況について

【議】 災害時にペットを避難所に同行させても、勝山市の現状では離れ離れにさせられてしまう。

どうしても同伴していただきたい

【理】 勝山市避難所開設・運営マニュアルでは、ペットは原則、避難所への持ち込みは禁止となっているが、ペットの退避場所を設けるかどうかは、住民が中心となって結成する避難所運営委員会で話し合い、最終的に避難所ごとに対応を判断するものとしている。

【理】 勝山市避難所開設・運営マニュアルでは、ペットは原則、避難所への持ち込みは禁止となっているが、ペットの退避場所を設けるかどうかは、住民が中心となって結成する避難所運営委員会で話し合い、最終的に避難所ごとに対応を判断するものとしている。

ペットとの同行避難があった際には、各避難所の建物外で風雨をしのげる場所等にペットの飼育場所を速やかに設置できるように、退避場所の確保について検討していく。

ペット同伴者専用の避難所の整備については、市民や地域のボランティアの方々協力、ペット飼育者や地域住民の意見、予算の確保等が必要となるため、今後、他の自治体の実態等も研究しながら検討していく。

【議】 令和5年3月13日よりマスク着用は個人の判断が基本となるが、子供たちの学校生活全般において、マスクに対する勝山市の基準を伺う。

【理】 卒業式については、文部科学省からの通知で「児童生徒および教職員は入退場、式辞・祝辞等、卒業証書授与、送辞・答辞の場面など式典全体を通じてマスクを外すことを基本とする」「来賓や保護者等はマスクを着用するとともに、座席間に触れ合わない程度の距離を確保した上で、参加人数の制限は不要」などの基本的な方針が示されたので、その通知に従い、各学校で対応することとしている。

4月1日以降の学校教育活動の実施にあたっては「マスクの着用を求めないことを基本とする」とされていて、これらに係る留意事項等は、改めて通知すること、その内容を踏まえて、適切な対応をお願いしていく予定である。

竹内和順 議員
新風会・公明



○ 人口減少対策戦略について ○ 地場産業の観光化について

その他の質問

- ・県への「要望書」について
- ・「みどりの食料システム戦略」について

【議】 第6次勝山市総合計画にうたう「人口減少対策を積極的に進める」、「人口減少・少子高齢化社会を前向きに捉え」の真意を伺う。

また、出生数と婚姻数は10年間同じ推移を示している。

若者が結婚を考えられる環境づくりが大切と考えるが、市の見解を伺う。

【理】 これまで安心して出産・子育てができる環境づくりからは、教育委員会事務局にこども課を設置し、子育て・幼児教育・学校教育等に対して一元的かつ切れ目のない支援をしていく。また、不妊治療の経済的負担を緩和し、少子化対策につなげていく。

人口減少の中であっても市民サービスが低下するのではなく、ターゲットを明確にし、より充実したサービスを提供していきたい。

結婚事業は、少子化対策への大きな要の一つであり、結婚事業に携わる民間の方々やタイアップし、適齢期の子を持つ親を対象にした婚活セミナーやコミュニケーション能力を高めるための講座などの企画を考えていく。

【議】 最近の観光は、地域固有の資源を新たに活用し、体験型・交流型の要素を取り入れた二要素リズムが注目を集めている。よって、地場産業の発展は、観光産業にも大きな利益をもたらす。

勝山市の繊維産業は、世界に通用するものを持つている。繊維産業の発展が地域の活性化となり、観光化につながると考えるが、市の見解を伺う。

市内の繊維会社では、地域おこし協力隊や市外で活躍するデザイナー等とのタッグによる新しい視点での取り組みや、これまでの企業間取引に加え、独自ブランドを立ち上げて製造から販売まで一貫して行う消費者との直接取引を新たに始めた企業もある。

また、業界全体で産地を盛り上げるため「越前勝山織」といった地域団体商標登録に向けた活動を行っている話も聞いている。

現在も一部の企業では工場見学等が行われ、先ほどの新しい取り組みなどと一緒、産地一体となってPRしていくことで、繊維産業の観光化に繋がると考える。

新風会・公明
下牧 一郎 議員



○ 定住対策について ○ ふるさと納税について

その他の質問

- ・ゼロカーボンシティ戦略について
- ・市民サービスの向上について
- ・防災対策について
- ・家庭の防災費補助について

議 来春には新幹線が開業し、東京がより身近になり、都内の企業に就職することが今まで以上に抵抗感が無くなる。

理 このような状況の中で、市内に就職し、定住しようとする若者が何人出てくるのか心配である。

議 若者に人気がある業種の会社は少なく、企業誘致も積極的に行われていない。

理 1年前にサテライトオフィスの誘致を提案したが、その後の進捗と誘致活動の具体的な内容を伺う。

議 議員ご提案の空き家を活用したサテライトオフィス誘致については、県の補助金創設や市の助成制度拡充などにより事業者への支援体制を整えている。

理 また、「かつやま創生プロモーター」を委嘱し、都市圏の企業ニーズ等の情報収集や企業紹介を行っているが、先行き不安により、事業の拡大に消極的な企業が多く、サテライトオフィスの誘致には至っていない。

議 現在、地域おこし協力隊が中心となり、市内の空き家を改築して、新たなまちの拠点を整備する計画がある。

議 市民同士の交流や異業種の交流、市内の建設業者との連携が期待され、市も積極的に支援していく。

理 神奈川県相模原市は、去年8月から市内の遊園地やキャンプ場などを備えたレジャー施設にふるさと納税ができる自動販売機を設置し、利用者に喜ばれている。これは、返礼品に差別化が図れない部分をアイデアで補い、ふるさと納税を少しでも多く集めようとしている事例である。

議 当市でも、道の駅や恐竜博物館などに設置して入場券やお土産、これからオープン予定のホテルの宿泊料に使えば、利用者にも喜ばれるのではないかと。

理 自動販売機であれば、観光等で訪れたときの気軽な寄付や寄附を通じた交流人口の増加も期待できる。全国事例では、ゴルフ場などリゾート施設の利用券や宿泊施設など比較的高額な返礼品を対象として活用されている。

議 自動販売機の設置については、その効果と設置費用、ランニングコスト等も考慮し、前向きに検討していく。

近藤 栄紀 議員
市政会



○ 野外宿泊所について ○ 除雪について

その他の質問

- ・子ども政策をはじめとする人口減少対策について
- ・にこにこ地域づくり交付金事業について
- ・長山公園、中央公園について
- ・観光の産業化について

議 当市でアウトドアを楽しむ場所といえば、芳野原オートキャンプ場のみになっている。

理 再開する岩屋キャンプ場、休止になっている東山いこいの森、それぞれの状況を伺う。

議 北郷町伊知地の空き倉庫を物流倉庫として取得した大阪の民間企業が、令和2年度末に廃止となった岩屋オートキャンプ場をキャンプ場の運営を行うため取得したいと申し出た。土地の賃貸借契約締結に向けて地権者と企業が協議しており、契約がまとまり次第、市と炊事棟等の貸付契約を締結する予定である。

理 東山いこいの森は現在、キャンプ場の運営を希望する民間事業者とキャンプ場事業再開に向けて、現地での施設確認や条件整備などの協議を進めている。

議 市は、施設的环境保全のため、給排水設備の保守や施設の清掃整備、キャンプ場敷地に隣接する市有林の間伐などを行っている。

理 民間事業者は、令和5年7月中の再開を目指しており、6月定例会には所要の手續きをお諮りしたい。

議 北郷まちづくり会館から新町区間の通学に使われる歩道が、3年前から除雪されていない。このような状況の歩道は他にもあるのか。

理 奥越土木の管轄ではあるが、今後の市の対応を伺う。

議 議員ご指摘の箇所の除雪を担当する奥越土木事務所に確認したところ、歩道除雪は原則、小学校から半径500mの範囲の通学路を実施しており、この区間は範囲外のため除雪していないとのこと。

理 この区間は、歩道を備えた2車線道路として道路拡幅事業に着手したが、地権者の理解を得られず、北郷まちづくり会館付近の200mほどしか事業を進められなかった。そのため、前後の道路が普通自動車のみでも難しく、連続していない一部の歩道を除雪する効果が十分に発揮できない状況である。

議 なお、市道も含めて通学路でありながら除雪されていない歩道がないか確認したところ、国道や県道、市道において同様な状況の箇所はなかった。

新風会・公明
松山信裕
議員



○ ジオパークについて
○ 観光について

その他の質問

- ・日本遺産について
- ・自主財源確保と資金調達について

議 ① 新年度に日本ジオパークの再認定審査が予定されている。そのスケジュールと課題は。

理 ② 教育や保全活動計画、シタイプロモーション、観光分野でのマーケティング戦略などさらなるポトムアップを目指すジオパークとして、日本ジオパーク全国大会を誘致すべき。

理 ① 再認定審査は、例年、9月に現況報告書や自己評価表等を日本ジオパーク委員会に提出し、10月から11月に2日間の現地調査を受け、12月の日本ジオパーク委員会調査運営部会、全体会を経て、審査結果が発表される予定。

4年前の再認定審査時に指摘された今後の課題・解決すべき点の解決に向けた4年間の取り組み状況が、次の再認定における審査評価の対象となる。

② 全国大会の開催地は、全国を6つのブロックに分けて輪番で開催することとなっており、昨年の大会は同じ甲信越中部ブロックの白山手取川ジオパークで開催されたため、勝山市への誘致は最短期間も令和10年の大会となる。

議 ① 市の観光を取り巻く環境は、劇的な変化、進化をしている。将来を見据えた観光のブランドデザインと戦略を示す、今後10年の勝山市の観光ビジョンを策定すべき。

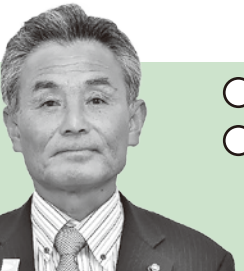
② 勝山市観光まちづくり株式会社において、以前の観光協会的な役割をどのように考えているのか。

理 ① 第6次勝山市総合計画の政策目標の1つとして「多くの観光客が訪れる豊かで活力あるまち」を掲げている。この目標を達成するため、社会情勢の変化を視野に入れた当市の観光振興ビジョンを早急に策定する。

② 勝山市観光まちづくり株式会社が市内の観光事業者との結び付きが弱く、観光事業者の意向を事業に充分反映できていないとの指摘をいただいている。

2月10日には、設立以来初めてとなる取締役社長の交代や社内に市内の観光事業者等による勝山観光戦略協議会が設立されたので、当該協議会には、かつて観光協会が担っていた役割を期待している。

新風会・公明
吉田清隆
議員



○ 機構改革に伴う影響について
○ 大災害に備えたドローン活用について

その他の質問

- ・通学路の除雪について

議 勝山市は、昨年4月に18課から12課に再編する機構改革を行った。

今年度に入り、勝山市では、恐竜クロカンマラソン、年の市、左義長祭りなど大きな行事が復活してきている。その中で、行事が重なったことがあるとも聞いている。

市役所では、三役会議や課長会議が開かれているが、その席上で調整はできないか。再編による弊害により、市民や子供に影響を与えてはならないと思う。

今年度の機構改革による行事に対して弊害はなかったか。

理 機構改革に伴う弊害として、事業間の調整不足から、市が主催する複数の行事の開催日が重なり、一部の参加者がやむを得ず片方の行事の参加を見送ることになったとの指摘をいただいた。

行事日程の調整が難しいケースもあるが、三役会議や課長会議で情報を共有し、他課の日程確認も行うことで、行事日程の重複を極力回避するよう努めていく。

議 将来予想される南海トラフ巨大地震や都市直下型地震に備え、ドローンを活用する取り組みが進んでいる。

勝山市では、昨年8月に豪雨による災害が発生した。災害直後の現状確認は、ドローンを使用することにより迅速に行えると思う。

災害時や豪雪時の物資輸送にも即戦力となると思う。勝山市におけるドローンの導入について伺う。

理 昨年8月4日の大雨では、被害確認等のため市所有のドローンを飛ばし、河川上流の被害状況を撮影した。

ドローンの有効性は認識しており、職員の民間操縦訓練への参加や関連企業との協定締結、実践的な活用研究に取り組んでいる。

地震や大雨、大雪時の上空からの避難指示等の伝達や遠隔地の被害状況などの情報収集、物資の輸送等にドローンの活用ができると考える。

将来への運用を見据え、新たに法律で規定された有人地区を目視外ドローンを運用するための国家資格の取得を検討をしている。

市議会
帰山 寿憲 議員



○ 行政機構のあり方について ○ 農業への支援について

その他の質問

- ・ 公共施設の整備に関して
- ・ 観光振興について
- ・ 長尾山総合公園の整備について
- ・ 子育て支援について

議 まちづくり会館の出先機能を強化、市民サービスの利便性を高めるべきではないか。また、正職員の定年延長が始まるが、会計年度任用職員への対応は。

理 まちづくり会館を市役所の支所機能として位置づけた出先機関にするためには、広範囲で多岐にわたる業務レベルの確保や施設設備等の課題がある。まちづくり会館で提供できる市民サービスには限りがあるが、DXを活用して幅広い地域自治の拠点となるよう機能強化を図り、市民の利便性を高める必要がある。地域福祉・地域防災に重点的に力を注いでいきたい。

また、地方公務員法やそれに基づく条例等の改正により、令和5年4月から任期の定めのない常勤職員（正職員）の定年の上げが段階的に行われる。

会計年度任用職員は、法律や条例等の改正による影響はないが、定年引上げの動向に合わせ、令和3年度に会計年度任用職員の勤続可能年齢を68歳に引き上げるよう運用を改正した。

議 収入減少に昨年より充実した支援と、機械の維持管理・農舎や機械の整備更新に市独自の支援を行うべき。また、昨年の被災農地の復旧支援状況と今後の見込みを伺う。

理 令和5年度の農業者等への燃料・肥料・資材等高騰の支援対策は、燃料等の価格上昇率と、国や県の6月補正など支援策の動向を注視しながら検討していく。

農舎や機械の整備更新への支援は、国や県の補助事業がない設備投資について、集落機能維持につながる集落単位の営農継続の重要性から、市単独補助が可能か研究し、営農継続への支援制度の創設を国や県に要望していく。

昨年の被災農地の復旧支援状況としては、復旧を妨げないために地元負担を求めない方針としている。

災害復旧工事は、降雪期でも工事可能な箇所から進めていたが、降雪期も終わり、さらに工事の進捗を進めたい。順調に進めば、令和5年度中には復旧完了の予定。

新風会・公明
松本 聖司郎 議員



○ 恐竜学部誘致後の準備状況について ○ Uターン等人口移動に関する調査と勝山市について

議 誘致が成立し、令和7年度より永平寺キャンパスから随時、勝山の学部へ学生が入ってくることになる。知事からの要望とあわせて、学費取得や大学卒業後の「雇用体制」「世代が楽しめる物の創出」「定住化」に向けた取り組みを即座に行う必要があると考えるが、市の準備状況を伺う。

理 市内観光事業者等と連携したアルバイト先の確保や魅力的な住環境の整備など様々な支援策を検討している。

県立大学による令和6年秋の学生募集時には、勝山市内の衣食住環境、各種学生支援制度等が本学部志望の学生にPRできるよう、庁内横断的に学生や教職員の受け入れ準備を進めていく。

今回の勝山キャンパス開設は、これまで一方的に市外流出が続いていた18歳人口を市内へ流入・定着につなげるチャンス。学生の卒業後の定着には、新規企業誘致や地元企業拡大支援、観光の産業化を進め、卒業生と企業との二ーズをマッチングできるような働きかけしていく。

議 2021年の「47都道府県の寛容と幸福、人口移動に関する調査」で、福井県は家族のあり方45位、変化の受容36位等を合わせ、寛容性指標は全国37位となっている。マインビの調査でも、若者は地域に押し付けられるのを嫌う傾向があり、勝山市においては、①他を覚えようとならない市民性、②他力本願、③やる気を削ぐ、これらの行動を地域の大人が行っている現状がある。

大人が変われば子供が変わる。県の方針に合わせる考えはないか伺う。

理 転入者が安心して住みやすいまちづくりが重要で、地域住民が自由にまちづくり活動に取り組めるよう、ここに地域づくり交付金による財政的支援を行い、地域コミュニティの強化を進めている。

こうした環境を整えながら、県外・市外で活躍する人材の招聘による世代間交流や異業種交流を活性化し、地域住民とともに地域課題の解決等に継続的に関わることで、地域づくりの担い手となるような関係人口の創出、その先の移住・定住に繋げたい。

○市民の暮らしと街づくりについて

その他の質問

・国民健康保険基金について

久保幸治
議員
日本共産党



【議】 推計では、勝山市の人口は30年後の2040年には1万6779人まで減少するとされている。人口減少や少子高齢化の問題対応として、市民が便利で暮らしやすいまちづくり中心の企画や政策が求められている。

①まちから、その地域の保育園幼稚園がなくなれば、人は子育てに不便で暮らしにくい場所から、良い暮らし環境を求めて出ていく。

子育てをする保護者や家族、当事者の子供たちの利便性を伴った教育環境を守り、まちから子供や家族が転出して子供がいなくなることを防ぐためにも、たとえ人数が少なくても、現存する保育園や幼稚園は存続させるべき。

②まちづくり、市民の暮らしという観点から考えると、学校がなくなることで通学の時間のロス、送迎の時間的・経費的な負担増など、保護者にとって現状の利便性は失われ、暮らしにくい生活となる。

2回目の署名が集まり、保護者の利便性の不安を含めた保護者など、今回の計画の再考を願う7000人に近い署名が集まっていると聞く。多くの市民の声は「存じだと思いが、再編の歩みを止め、再考を願う市民との対話を再開する気持ちはないか。」

①公立保育園と幼稚園が廃園になっても、市内の私立保育施設で受け入れられる園児数は、保育施設への入園希望の園児数より多い見込み。

4月から新たに教育委員会に設置する「こども課」が主体となり、公立保育園や幼稚園と同様に認定こども園や保育園との連携や研修、小学校との相互連携強化なども包括的に行うなど、これまでと同じく入園希望の乳幼児を全て受け入れられる施設及び定員数を確保していきたい。

②再編計画を進めるにあたり、いろいろな意見に耳を傾けることは大切にしたい。

中学校再編は、今後も少子化の進行が見込まれる勝山市において、子供たちにとってどのような教育環境を提供することが望ましいかとの観点で進めているもの。

よりよい教育の実現に向けて、今後もしご意見をいただければありがたい。

○雪押し場情報の更新について ○新型コロナワクチン後遺症への対応について

その他の質問

・マスク着脱について

中山光平
議員
市民の会



参考資料



各団体HP

【議】 新型コロナ対策の質問に入る前に、現状を確認する。
・厚労省に報告された新型コロナワクチン接種後の死亡事例は1963件、医療機関から報告された重篤事例は計8333件。（接種開始日2021年2月17日～2022年12月18日の1年10か月間の報告数）

・予防接種健康被害救済制度の認定者数は、2023年2月10日時点で受理件数6219件、認定件数1622件であり、新型コロナワクチンは救済制度開始から過去最多の被害認定件数を出しているワクチンである。

・人口動態統計の死亡者数について、コロナ禍が始まった2020年は、まだワクチン等はなかったが、前年より超過死亡者数が約9000人減少。しかし、新型コロナワクチン接種が始まった2021年は死者数が戦後最多になり、2022年には21年を上回る13万人もの死亡者数となつて戦後最多を更新。理由は不明。

この状況で日本もやっと新型コロナワクチン接種後の後遺症の実態調査に向けて動き出した。今は一部の医療機関における実態調査だが、今後の進展状況を把握し、勝山市でも、新型コロナワクチン接種後に何か症状が出た場合は相談してほしい」と市民に知らせしてはどうか。

【理】 ワクチン接種後に体の異常を感じたときには、接種時に配布するチラシや市ホームページ等で、接種した医療機関やかかりつけ医、健康体育課窓口等が相談先であると知らせている。

副反応に関する研究が進み、内容が明らかになれば、その結果や相談先等について適切な広報に努めていく。

【議】 広報してきた副反応以外の症状も被害認定されている実態がある。それら症状と実態も含めた周知が必要であり、既存の広報では情報不足により当人の自覚や相談に繋がりにくい。例えば、ワクチン被害者遺族の会「繋ぐ会」や新型コロナワクチン後遺症患者の会、全国有志医師の会などでは、学会で報告された症状等を公開している。市民の救済漏れに繋がらないよう尽くすことが、行政のアップデートだと考える。



はるのみかく

ほろ苦い春の香りが口いっぱい広がる山菜の季節になろうとしています。この山菜料理が食卓に並ぶと食卓の季節感も高まります。一年の中でも限られた時期にだけ出会える大地の恵みとして市民の間でも人気があり、代表的なものとして（タラの芽、こしあぶら、わらび、ぜんまい）などがあります。

山菜は、5000年以上前の縄文人も口にしていたと言われており、縄文遺跡の三内丸山遺跡（青森市）からは、たらの芽の種が発見されるなど、縄文人は土器を使い山菜のアク抜きや塩漬けまでしていたようです。

春の季節を味覚で堪能する山菜ですが、昨年の水害で林道や斜面の崩れた個所も多く、山菜の収穫は十分気をつけてお楽しみください。（久保 幸治 記）



議会日誌

1月27日	議会運営委員会、全員協議会、総務文教厚生委員会	16日	予算委員会、総務文教厚生委員会
2月 1日	全国高速自動車道市議会協議会（東京都）	17日	予算委員会
3日	福井県市議会議長会定期総会	18日	中部縦貫道ハイウェイウォーク
9日	全国市議会議長会理事会・評議員会合同会議 （東京都）	19日	中部縦貫自動車道大野油坂道路（大野IC～勝原IC）開通式典、20歳のつどい
10日	全国市議会議員共済会代議員会（東京都）、勝山市 防災会議	20日	議会改革特別委員会、久保幸治議員に規律を正すことを求める決議案審査特別委員会、議会運営委員会、総務文教厚生委員会、建設産業委員会
21日	総務文教厚生委員会、全員協議会、建設産業委員会	22日	予算委員会、議会広報特別委員会
3月 1日	本会議、全員協議会、議会運営委員会	24日	建設産業委員会、議会運営委員会、全員協議会、 本会議
7日	議会運営委員会	27日	大野・勝山地区広域行政事務組合議会、福井県後期 高齢者医療広域連合議会
8日	本会議（代表・一般質問）、議会運営委員会	30日	勝山・永平寺衛生管理組合議会
9日	本会議（一般質問）、議会広報特別委員会、議会 運営委員会	4月 4日	総務文教厚生委員会
10日	建設産業委員会、予算委員会、総務文教厚生委員 会、全員協議会、本会議、久保幸治議員に規律を 正すことを求める決議案審査特別委員会	6日	北信越市議会議長会評議員会・定期総会（富山県）
13日	総務文教厚生委員会	10日	議会広報特別委員会
14日	建設産業委員会、総務文教厚生委員会	13日	春季消防訓練
15日	予算委員会、建設産業委員会	17日	議会広報特別委員会

6月定例会一般質問予定日

5/31 (水)・6/1 (木)
両日とも 午前10時～



← 詳細はこちら

編集後記

勝山の風物詩が戻ってきました。弁天桜と鯉のぼり、残雪でうっすらと雪化粧している加越の山々の自然景観の素晴らしさに感動します。

花見だんごを食べながら、これからの明るい勝山市の暮らしへの夢を抱きましょう！（富士根 信子 記）

《議会広報特別委員会》

委員長 下道 恵子 副委員長 松本 聖司郎 中山 光平 富士根 信子 久保 幸治

発行：勝山市議会 〒911-8501 福井県勝山市元町1丁目1-1 TEL 0779-88-8100(直通)

編集：議会広報特別委員会 <URLアドレス> <http://www.city.katsuyama.fukui.jp/>

<Eメールアドレス> gikai@city.katsuyama.lg.jp



議会中継動画



Facebook